広報
さめがわ

今月の人口
（10月1日現在）

	前月比
人　口	5,377（＋7）
男	2,654（＋4）
女	2,723（＋3）
世帯数	1,133（＋4）



交通安全を願って

平成2年
10
No. 442

9月21日、村交通対策協議会と交通安全協会主催の「交通安全パレード」が行われました。鮫川小学校児童による鼓笛隊の協力を受け、無事故を呼びかけました。

おもな内容

平成元年度決算……2～6
献血……7
スポーツの秋……8・9
こんにちは、保健婦です……10
農委だより……11
公民館だより……12
文芸……13
話題……14・15
お知らせ……16

発行／編集　鮫川村総務課　印刷／塙町　佐藤印刷所
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5
TEL（0247）49－3111　〒978－04

づくりのために
2,331万円

平成元年度の一般会計と、国民健康保険などの特別会計の決算がまとまり九月二十五日から開かれた第七回鮫川村議会定例会で承認されました。

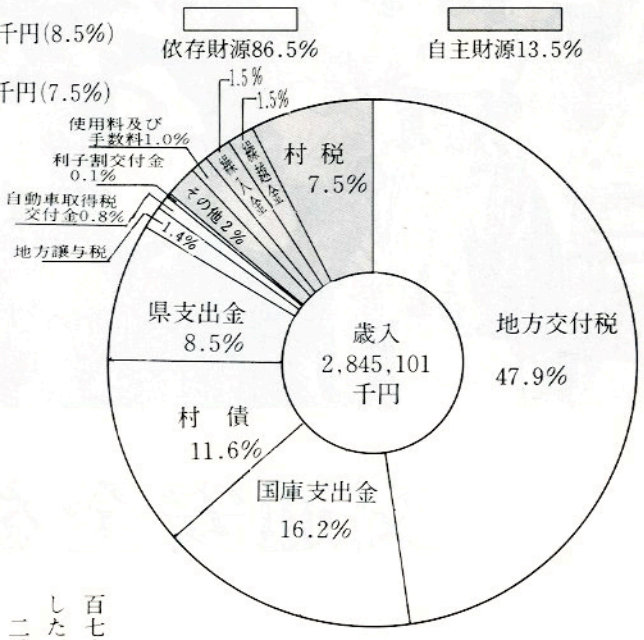
一般会計の歳入は二十八億四千五百十万一千円、歳出は二十七億八千四百十四万三千円で、六千九十五万八千円の黒字決算となりました。

村の元年度の〝家計簿〟を点検し、活力ある村づくりのためどのようにお金が使われたのか、その内容をお知らせします。（歳入歳出とも千円未満四捨五入）

会計 歳入28億4,510万1千円

地方交付税	13億6,252万円(47.9%)
国庫支出金	4億6,012万1千円(16.2%)
村債	3億2,890万円(11.6%)
県支出金	2億4,240万8千円(8.5%)
村税	2億1,355万6千円(7.5%)
繰入金	4,254万7千円(1.5%)
繰越金	4,281万円(1.5%)
地方譲与税	3,961万4千円(1.4%)
使用料及び手数料	2,789万円(1.0%)
自動車取得税交付金	2,368万7千円(0.8%)
その他	6,104万8千円(2.1%)

歳入の構成比



歳入の約半分は 地方交付税

歳入の決算額は、前年度と比較すると、四億一千二百九十七万九千円、十七・〇%の増加となりました。

主なものは、村の規模、財政等を基準として国から交付される地方交付税で、十三億六千二百五十二万円、前年度に比べてふるさと創生事業費等の算入により、一億三千七百七十五万四千円、十一・二%増加しました。

二番目は、国庫支出金で四億六千十二万一千円、前年度に比べて、災害復旧費の国庫負担の増加等により二億七千八百九十二万九千円、百五十三・九%増加しました。

三番目は、村債で多額の経費を要する災害復旧事業等の財源として三億二千八百九十万円を借り入れたもので、前年度に比べて二千七百九十万円、七・八〇%の減額となりました。

また、村税が前年度と比べて、三千二百八十八万四千円、十八・二%増加したのは、固定資産税の償却資産のうち東京電力（株）新いわき今市線送電設備が、平成元年度から供用開始により配分価格が大幅に増加したためです。

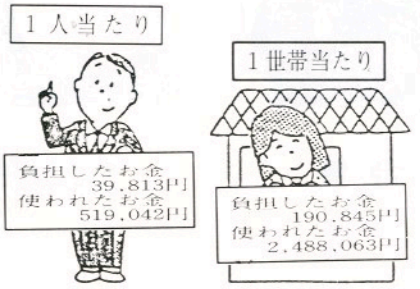
活力ある村

使われたお金は 各会計あわせて 37億

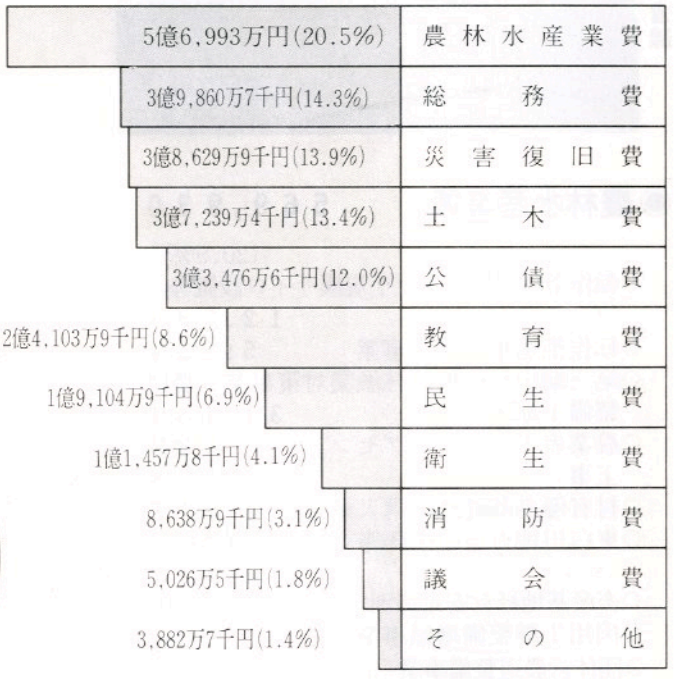
税の負担状況

（一般会計）

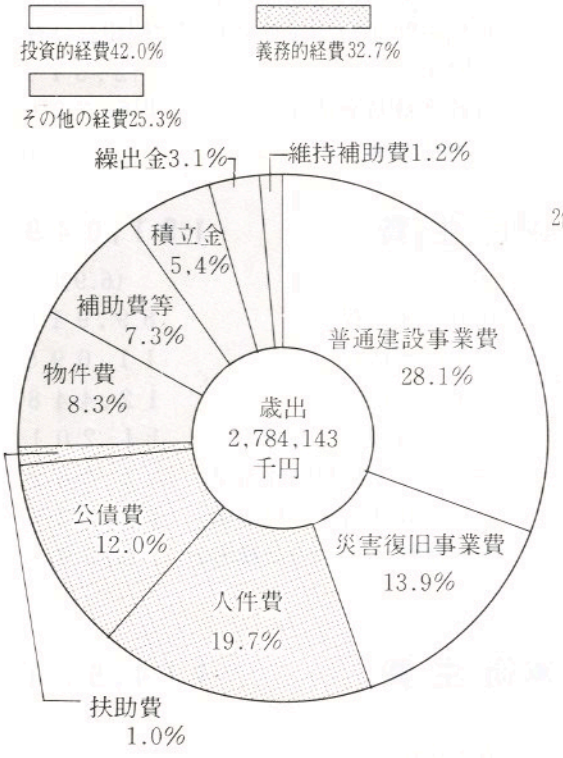
（平成２年３月31日現在
人　口　５,３６４人
世　帯　１,１１９世帯）



歳出27億8,414万3千円 一般



歳出の性質別構成比



歳出は村民一人当り 約52万円 一世帯当り約250万円

歳出の決算額は、前年度と比較すると三億九千四百八十三万一千円、十六・五%の増加となりました。

主なものは八月の十三号台風及び十七号台風による災害復旧事業費等の投資的経費が、前年度に比べて二億七十八万一千円、二〇・七%と大幅に増加したことと、ふるさと創生事業基金の積立によるものです。

決算収支は黒字

決算収支の状況についてみると、歳入歳出差引額は六千九十五万八千円となり本年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は、四百四十万七千円の黒字となりました。

主な事業

（単位：千円）



▶舗装された大戸中松倉線

◉農林水産業費　569,930

（20.5%）

○転作条件整備事業（小規模サイロ設置等）　12,786
○転作推進集落育成事業　5,224
○第三期山村振興農林漁業対策事業（農道整備１地区）　31,134
○農業者トレーニングセンタープール塗装工事　4,378
○村有優良基礎雌牛購入事業　1,017
○東白川地方畜産振興施設運営組合負担金　8,418
○畜産基地経営安定特別対策事業　3,330
○肉用牛群整備増殖事業　3,420
○団体営農道整備事業（３地区）　63,361
○土地改良総合整備事業（農道整備２地区）　63,888
○県単土地改良事業（農道整備１地区）　12,183
○新農山漁村振興特別対策事業（農道整備１地区）　10,333
○東白川地区広域農道整備事業負担金　6,922
○土地改良総合整備事業補助金（３地区）　5,293
○地籍調査事業　24,936
○森林地域活性化緊急対策事業　4,370
○林道舗装事業（４線）　62,922
○村単林道舗装事業（１線）　4,017
○県単治山施設補助事業（２地区）　6,999
○山村林業構造改善事業（生活環境施設整備）　36,647



◀渡瀬保育所の子どもたち

◉議会費　50,265

（1.8%）

◉総務費　398,607

（14.3%）

○村制施行100周年記念事業　7,021
○ふるさと創生事業基金積立金　82,076
○村税納期前納付報奨金及び納税組合活動奨励金　2,571
○財政調整基金積立金　26,259
○振興基金積立金　13,856

◉民生費　191,049

（6.9%）

○保育所運営費　89,910
○児童館運営費　11,095
○児童手当給付　12,448
○重度心身障害者医療費　11,201
○さぎり荘運営費助成事業　3,382
○老人保健特別会計繰出金　12,535
○国民健康保険特別会計繰出金　10,562

◉衛生費　114,578

（4.1%）

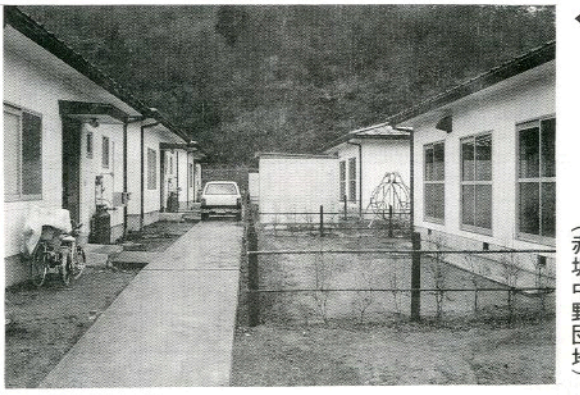
○成人病検診　11,016
○各種検診・予防接種　1,412
○乳児医療助成事業　1,474
○簡易水道事業繰出金　51,471
○東白川地方町村衛生処理組合負担金　19,494
○診療所運営費繰出金　6,647

◉労働費　324

目的別決算額と



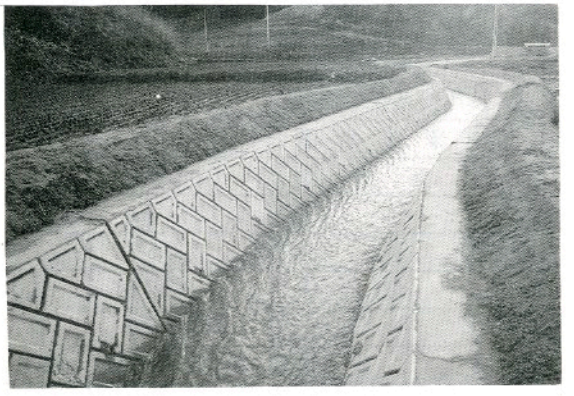
▶〝ふるさとの時間〟で活動中の中学生



◀建設が完了した村営住宅（赤坂中野団地）

◉教育費　241,039（8.6%）

○スクールバス購入事業（１台）　７,０５６
○教員住宅取得費（10棟の元年度償還金）　７,９５０
○渡瀬小学校プールサイド改修工事　２,６７７
○西山小学校プールろ過装置取替工事　２,３４１
○鮫川小学校暖房燃料パイプ改修工事　１,７５１
○鮫川中学校教室天井補修工事　４,５１２
○鮫川中学校校舎外壁補修工事　３,０７０
○鮫川中学校調理室・理科室整備工事　２,０８１



▶災害復旧工事を施工した真坂川

◉災害復旧費　386,299（13.9%）

○農業用施設災害復旧事業(12カ所)　１９,７３２
○林業用施設災害復旧事業（１カ所）　５,６９７
○公共土木施設災害復旧事業(68カ所)　３５７,６５２

◉商工費　38,503（1.4%）

○商工業振興事業補助金　１,８１０
○鹿角平観光牧場施設整備事業　１８,０２５

◉土木費　372,394（13.4%）

○道路改良舗装事業(14路線)　２５５,９１９
○道路維持補修事業　１１,７１０
○道路台帳整備事業　３,３９９
○国県道等県営事業負担金　１２,１３４
○農用地開発公団事業費負担金　１３,４８６
○公営住宅建設事業（３戸）　２９,５２２

◉消防費　86,389（3.1%）

○白河地方広域市町村圏整備組合負担金　５４,７２０
○防火水槽３基　７,５６９
○小型動力ポンプ１台　１,１４８
○ポンプ置場新築工事１棟　６１８
○消火栓格納箱設置工事(17カ所)　１,３００

◉公債費　334,766（12.0%）

特別会計

国民健康保険特別会計（事業勘定）、老人保健特別会計、簡易水道事業特別会計の決算は各表のとおりです。



国民健康保険特別会計（事業勘定）

（単位：千円.％）

	区分	決算額	構成比
歳入	国民健康保険税	129,201	35.2
	使用料及び手数料	8	—
	国庫支出金	191,218	52.1
	療養給付費交付金	12,915	3.5
	共同事業交付金	3,323	0.9
	財産収入	1,754	0.5
	繰入金	11,575	3.2
	繰越金	12,032	3.3
	諸収入	4,839	1.3
	合計	366,865	100.0
歳出	総務費	14,141	4.3
	保険給付費	248,470	75.6
	老人保健拠出金	53,476	16.3
	共同事業拠出金	3,077	0.9
	保健施設費	1,485	0.4
	基金積立金	1,754	0.5
	諸支出金	6,456	2.0
	合計	328,859	100.0

○被保険者１人当り国保税　４２,４４４円
○被保険者１人当り医療費　１４７,７１７円

国民健康保険特別会計（直診勘定）

（単位：千円・％）

	区分	決算額	構成比
歳入	診療収入	55,748	78.7
	使用料及び手数料	105	0.1
	繰入金	12,047	17.0
	繰越金	2,478	3.5
	諸収入	480	0.7
	合計	70,858	100.0
歳出	総務費	32,056	51.1
	医業費	30,354	48.4
	施設整備費	307	0.5
	合計	62,717	100.0

○診療患者数11,255人（１日当り38.3人）
○診療１件当り医療費6,977円



老人保健特別会計

（単位：千円・％）

	区分	決算額	構成比
歳入	支払基金交付金	141,195	64.8
	国庫支出金	40,670	18.7
	県支出金	10,167	4.7
	繰入金	12,535	5.7
	繰越金	13,119	6.0
	諸収入	133	0.1
	合計	217,819	100.0
歳出	医療諸費	199,189	93.8
	施設整備費	13,121	6.2
	合計	212,310	100.0

○１人当り医療費　３５１,７０３円
○１人当り受診者負担　１２,８５０円
○１人当り村負担　３３８,８５３円

簡易水道事業特別会計

（単位：千円・％）

	区分	決算額	構成比
歳入	分担金及び負担金	6,802	3.1
	使用料及び手数料	7,351	3.3
	国庫支出金	67,204	30.2
	県支出金	11,760	5.3
	繰入金	51,471	23.1
	繰越金	2,053	0.9
	諸収入	5,326	2.4
	村債	70,700	31.7
	合計	222,667	100.0
歳出	総務費	6,575	3.0
	施設費	210,990	95.8
	公債費	2,726	1.2
	合計	220,291	100.0

○飲料水供給施設整備事業（酒垂地区・水口地区）の事業費は１億8,225万7千円でこれにより、給水人口は193人増加し811人となりました。

あなたの愛に感謝します

今年度第三回目の献血が十月九日村内四会場で行われ、一一三人（うち九人が四〇〇㎖献血）の方々からご協力をいただきました。

なお、前に「さめがわ健康だより」でお願いしました成分献血に三人の方からご協力をいただきました。ありがとうございました。

献血に協力された方々は、次のとおりです。（敬称略）

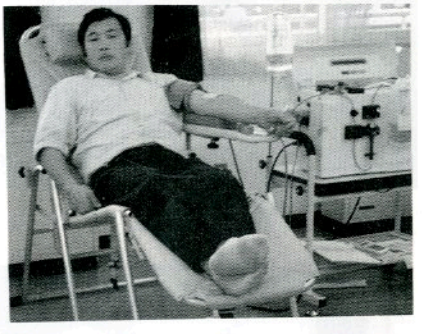
○成分献血者

生田目丈夫（鍬木田）鈴木和則（蕨ノ草）増谷隆夫（荻ノ沢）

○全血献血者

◎は四〇〇㎖献血者です。

▽佐藤春枝（遠ケ竜）▽水野洋子（広畑）▽須藤勝代（遠ケ竜）◎大楽勝弘（大塩）▽蛭田ノリ子（広畑）▽宗田トミ（内ケ竜）▽宗田キン（内ケ竜）▽赤坂孝男（中野町）▽遠藤きくえ（上耕地）▽遠藤美智子（上耕地）▽赤坂光子（中野町）▽大平啓子（二反田）▽藤田セツ子（関下）▽大楽憲子（大塩）▽須藤ヨシ子（岩野草）▽近藤保弘（新宿）◎圓井正男（取上）▽鷺野谷弘行（二反田）◎金沢広一（大塩）▽星秀子（蕨平）▽古市祐子（矢祭町）◎小嶋満（鍬木田）▽我妻久子（落合）▽菅野智子（白河市）▽渡辺三代子（鍬木田）▽仲川照子（白河市）▽村山義美（巡ケ作）▽鈴木守弘（馬場）▽舟木正博（石ノ花）▽北條利雄（岫長）▽窪木マサ子（大塩）▽高坂修一（浅屋敷）石井智子（酒垂）▽中川西淳子（石井）▽近藤昌子（新宿）▽本郷まさ子（戸草）▽青砥ハツ子（塙町）▽鈴木眞理子（大塩）▽佐藤文夫（火打石）◎鈴木隆寛（馬場）▽須藤カヨ（後田中）▽本郷秀季（戸草）▽霜田和子（前折戸）◎金沢満（前田）▽添田剛弘（鍬木田）▽斉藤実（酒垂）▽石井哲（酒垂）▽佐藤健二（棚倉町）▽下重三男（関口耕地）◎中條雅彦（棚倉町）▽阿久津智典（折戸）▽生田目満（青生野）▽添田富男（石川町）▽須藤陽一（石川町）▽金沢賢嗣（真坂）▽円谷里美（中沢）▽藤田利之（青生野）▽森田裕幸（青生野）◎新田友喜（棚倉町）▽佐藤明広（古殿町）▽佐藤律文（伊柳沢）▽長井久幸（青生野）▽中島武夫（青生野）▽三瓶智弘（伊柳沢）▽鈴木幸江（古殿町）▽矢吹みゆき（官沢）▽橋本くみ（表郷村）▽吉田みどり（広畑）▽斉藤美和（吉合）▽根本佐和子（中沢）▽野崎三男（前沼）▽高木美代子（前押野）▽橋本ユカリ（古殿町）▽橋本さおり（古殿町）▽吉田健三（古殿町）▽添田サチエ（鍬木田）▽星恵（蕨平）▽鈴木さゆり（塙町）▽矢吹由美子（官沢）▽舟木精一（石ノ花）▽吉野真樹子（伊柳沢）▽本郷由美子（戸草）▽鈴木純子（江竜田）▽芳賀喜貴（古殿町）▽斉藤博文（草牛）▽佐久間恵子（大根屋敷）▽羽田浩幸（内ケ竜）▽岡部晴美（青生野）▽中川西祥子（森の前）▽根津桜（伊柳沢）▽市川明美（滝の下）▽佐藤勝徳（火打石）▽尾形淳子（伊柳沢）▽円谷真由美（中沢）▽森薫（遠ケ竜）▽藤田貴子（岡田）▽坂本みゆき（古殿町）▽渡辺邦浩（伊柳沢）▽諸橋孝吉（蕨ノ草）▽笹島幸二（青生野）▽下重しずい（田野上）▽高木智明（婦知目賀）▽矢内隆之（石川町）▽芳賀すみ子（摺合）▽岡部まゆみ（青生野）▽本郷光男（古殿町）▽水戸昭治（押野）▽溝井彰（古殿町）▽根本かおる（古殿町）▽吉田ゆかり（広畑）▽佐川洋子（古殿町）▽我妻真由美（落合）▽高久礼子（浅川町）



「かねひさ号」名誉賞受賞！

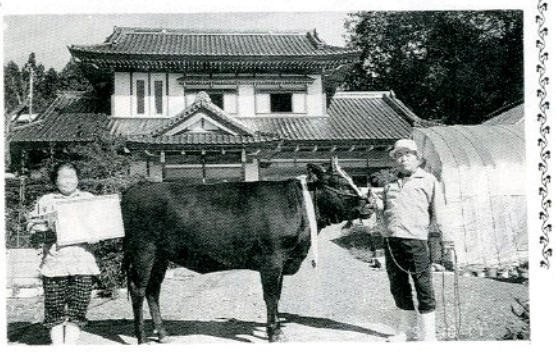
第3回東日本和牛能力共進会

第三回東日本和牛能力共進会が九月二十一日～二十三日の三日間、福島県本宮町の福島県家畜市場で開かれ、一都八県より選抜された一三〇頭が覇を競いあいました。

審査の結果、本村西山字水口、関根仁さん飼育の「かねひさ号」が、第一区（生後14カ月～16カ月）で見事「名誉賞」となりました。

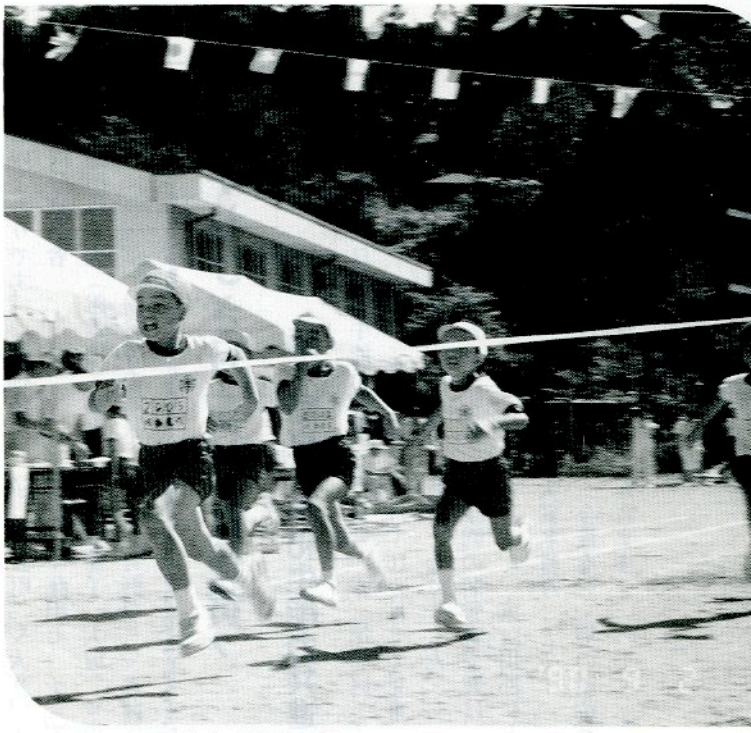
今回の名誉賞受賞は、村はもちろん、東白川郡にとって大変名誉なことです。

今後なお一層の活躍が期待されます。

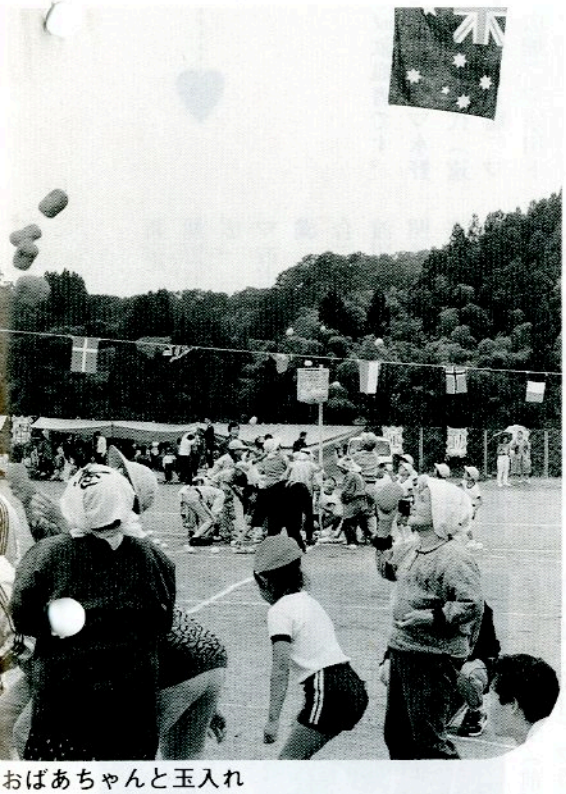


スポーツの秋

今年もスポーツの秋を迎え各区や小学校、保育所などで運動会が盛大に行われました。「100メートル走」「障害物競走」などの個人競技や、「綱引



▲ 西山小の100m走



おばあちゃんと玉入れ



中野区民運動会の綱引き



渡瀬保育所の紅白リレー



渡瀬小の一輪車リレー

元気！元気！

き」「リレー」などの団体競技と熱戦が繰り広げられました。子どもから大人まで楽しい一日を過ごしました。



▲ 西野小親子競技



▲鮫川保育所
おばあちゃんと大玉ころがし



▲ 西山児童館の
紅白リレー



▲ 西野小おじいちゃん



鮫川幼稚園の〝でかパン〟競走

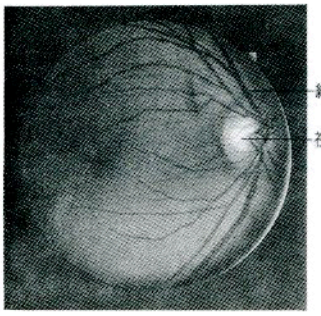


富田小のあめ食い競走

こんにちは 保健婦です

糖尿病からおこる 眼の病気

目は心の窓と言われ、自分の健康状態を知る手がかりにもなります。眼底をのぞくと、脳への通り道である視神経乳頭や、血管などが見え、そこにいろいろな病気の症状があらわれてきます。

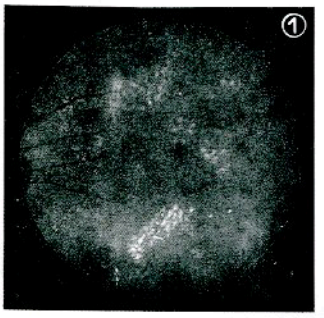


眼底でわかる成人病

- ○脳腫瘍
- ○緑内障
- ○糖尿病
- ○血管硬化症
- ○網膜はくり

糖尿病になると、全身の血管に異常がでてきます。とくに眼や腎臓のような、非常に細い毛細血管から異常が始まります。

糖尿病網膜症は次のように進行していきます。

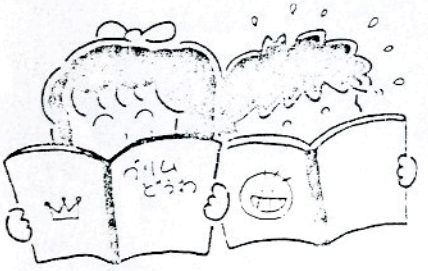


正常な眼底と比べると出血・白斑がたくさんあるのがわかりますが、網膜の中心部に異常がなければ視力にはほとんど障害がありません。



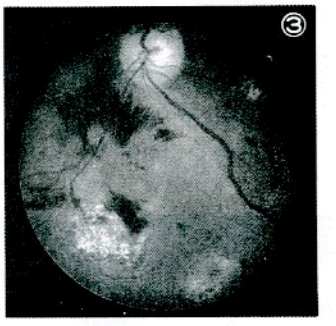
←

網膜の表面に、新しい血管が出てきている。もろく、切れやすい。



←

出血をおこした状態。硝子体の中にも出血をおこすと急に見えなくなってきます。



←

③の状態が広範囲に及んでいます。こうなると網膜に光が届かなくなり、急激に視力が落ちてきます。

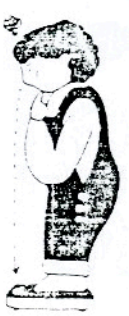


現在、眼底出血をおこす病気のうち、糖尿病性網膜症は最も多く、失明原因の一位となっています。糖尿病になってから十年経過すると、約六〇%の人が網膜症を合併するといわれています。

糖尿病性網膜症の治療は、糖尿病そのものの治療が大切です。食事療法や運動療法、薬物療法により、血糖をコントロールします。これが不十分だと網膜症を増悪させる原因となります。



～血糖をコントロールするために～



- ・定期的に検診を受けましょう。
- ・規則正しい食習慣をつけ、肥満を防ぎましょう。
- ・自分に合った運動を続けましょう。
- ・ストレスを避けましょう。

農委だより

平成二年産 水稲作柄状況を調査

農業委員会では、去る九月二十日村内一円にわたり水稲の作柄状況調査を行いました。

今年は、稲作期間中植付後順調な天候が推移し、高温多照に経過したことから、昭和二十二年の調査開始以来、五番目に多い収量が見込まれています。

二班に分かれ、西部方面、東部方面とそれぞれ作柄の状況を調査しました。

今年産の作柄はいずれも地域差がなく、昭和六十二年産以来、三年ぶりの豊作が見込めそうです。

特に今年の場合、病虫害による被害がなかったこと、高温多照であったこと、心配された台風の被害もなかったこと、管理面においてそれぞれ積極的に消毒等実施され、イモチ病、害虫による被害を未然に防止されたことによるもので、今後は乾燥調製に十分注意し、上位等級の確保に努めてください。

東北地区農業委員会現地研究集会参加

去る九月十三、十四日の二日間山形県上山市市民会館において、「平成二年度東北地区農業委員会現地研究集会」が開催され、白坂会長と高坂事務局長が参加しました。

主催者である山形県農業会議長谷川会長のあいさつに続き、山形県知事、全国農業会議所会長、東北農政局長、上山市長等来賓の祝辞をいただき、講師の横浜国立大学経済学部教授、田代洋一氏による「東北における地域づくりと農業の発展をめざして」と題し、基調講演があり、「地域の特性を生かした構造政策の推進、体制づくりが重要で、東北の農村・農家に!!あるもの!!をみつめて、農地だけでなく地域の総合的な土地利用を図ることが重要である」旨、まだまだ東北地方における農業に夢と希望のある講演でした。



続いて、事例の発表があり、青森県金木町農業委員会、川口隆会長から、「転作を生かした自立経営の確立」、福島県小高町農業委員会、渡部哲雄会長から「農業経営者を組織化して町農業振興をめざす」岩手県金ケ崎町農業委員会、高橋清松会長から「農地流動化の推進について」、最後に地元山形県上山市農業委員会長沢義信会長より、「明日の農業を背負って立つ先導役の育成」と題し、それぞれ実践されている活動の発表があり、山形大学教授楠本雅弘先生、全国農業会議所参与池田昭雄氏を助言者に、活発な質疑が行われ、第一日目が終りました。

第二日目は、山形県寒河江市、「バラ団地」「チェリーランド構想」について、寒河江市農林課担当職員の説明を受け、その後現地視察をし、二日間の研修を終了しました。

〃農地を活かし明るい経営〃
農地流動化推進強化月間
10月1日～11月30日

十月一日から十一月三十日まで「農地流動化推進強化月間」です。

農地を貸したい人、又は借りたい人で次のような要件に該当する方は、地元農業委員、又は農業委員会にご相談ください。

【貸し手農家】

一、経営主が高齢で、後継者がいない。
二、兼業（他産業）に専念している。
三、農機具等が更新時期になっているが、再投資をしたくない。
四、経営規模が小さい。
五、経営規模を縮小したい。



【借り手農家】

一、経営規模の拡大を図り、生産性の向上を図りたい。
二、農地や、機械施設を高度に利用したい。
三、農地を有効に利用したい。
四、農作業等の効率化を図りたい。

公民館だより

山野草に親しむ

社会学級



第五回講座は、九月二十日から六日間にわたり阿久津文男先生（歴史編さん室勤務）を講師に招き開催しました。

最近、特に山野が荒らされ、絶滅の危機にさらされている野草の多い時期だけに、山野草の楽しみ方として三つの例を挙げ話されました。

○自然のままの観賞法
○栽培して楽しむ観賞法
○食べて楽しむ

このうち、栽培して楽しむマナーとして、原野から採集することは避け、買い求めるか、知人より譲り受けるか、又は種子を分けて貰って実生から育てることの意義を強調され、いかに愛着を持ちながら育てることが大切か、また、それにより何培もの喜びに浸れるかの質の異なりを切々と話され、学級生も身につまされることもあり「うん、うん」とうなずいているのが印象的でした。

特に、山野草にいえることは、身近にあるからと乱獲されれば、自然のサイクルが狂い不協和音を呈するのがおちであり、やがては自然のしっぺがえしをくらうことの方がより重大性を秘めているということでした。

言い変えれば、自然は自然として残しておき、栽培に当たっては、より自然に近い状態で育てる心配りが必要なのだと訴える講話を通し、自然の恵みをいかに受けるべきか痛切に感じとりました。

午後は、学級により異なった趣味の学習をしました。

中でも、薬草研究をした学級では、当地方に見られるものが何たるかを、図鑑を通して調べ、克明に記録していました。やがて、漢方薬展を開くことが出来るようになればすばらしいと思いました。

第1回ふれあいゲートボール大会

第一回村民ふれあいゲートボール大会が、さぎり荘ゲートボール場でお年寄りが三人、小学生二人が参加して、午前八時三十分から開会式が行われたあと、鷺野谷村老人クラブ連合会長を審判長に三コート変則リーグ戦で行われました。

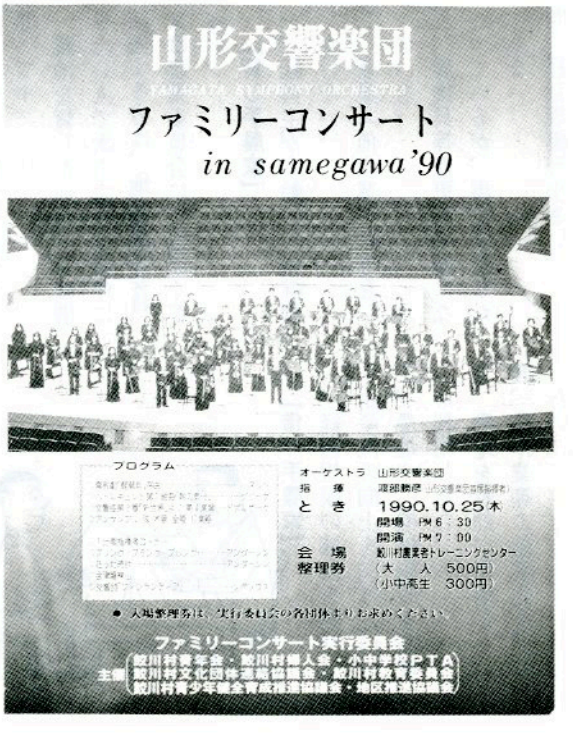
雨に見舞われ悪いコンデションの中、ゲートもなかなか通らず、子供たちも四苦八苦、慣れない手付でお年寄りに技術を教わりながら楽しくゲームに取り組んでいました。雨が降り続き競技は予選リーグで終り、決勝リーグは実施できませんでした。

表彰式は三位まで賞状と記念品、全チームに村長から参加賞が贈られました。

成績は次のとおり。

優　勝　西野Aチーム
準優勝　渡瀬Aチーム
三　位　西野Bチーム





年金

届出をお忘れなく

国民年金の第三号被保険者いわゆる「サラリーマンの奥さん」は、次のような場合には、届出が必要です。

① サラリーマンの方と結婚し、被扶養者となったとき
又は離婚したとき

② 配偶者が転職したとき、又は退職したとき

③ 本人が就職したとき、又は退職し、配偶者の被扶養者となったとき

④ 配偶者が六十五歳に達し被用者年金の被保険者でなくなったとき

また、この届出を忘れますと、「サラリーマンの奥さん」としての記録が残らないので、将来年金が受けられなくなる恐れもありますので、届出を忘れないようにしましょう。

老齢福祉年金

11月の支払日は13日から

老齢福祉年金の支払開始期日は四月、八月、十一月の十一日になっています。ますが、平成二年の十一月の支払日は十二日が「即位の礼」で休日になり、金融機関が休みですので、十三日から支払われます。

ただし、十一日が日曜日にあたる場合は、十二日から支払われます。

無料調停相談会

土地、金銭の貸し借り、交通事故の損害賠償などの問題や、離婚、離縁、親子関係など家庭内の問題を解決するために裁判所の調停という制度があります。

調停を申立てるにはどうしたらよいかなど、実際に調停にたずさわっている調停委員が相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

日時　平成2年11月9日(金)
午前10時～午後3時
場所　鮫川村山村開発センター

事業主のみなさん！

労働保険の加入はお済みですか

労働保険適用促進月間
10月1日～10月31日

未加入の事業所は最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所で今すぐ加入を！



文芸

俳句

新宿　斉須　信子
おみなえしゆれいる丘や父眠る

押目　素人　坂
旅をせしむかしを偲ぶ箱根菊

押野　山本　恵子
秋草やしがらみ纏う峡の家

宿ノ入　田中　義明
秋立つと小川の水が花映す

横座　矢吹　茂
田廻りや肌撫でる風秋近し

大塩　矢吹　呂孝
秋ざくら風のもつれは風が解く

反田　小山田清哲
台風一過未熟の栗の落敷ける

道少田　山本五十鈴
台風待つ大樹枝葉を緊きしめて

鮫川高校　沢　草二
霧の灯を見しが獣の何ならん

鮫川高校　生田目孝子
安達太良へ一歩路み出す秋思かな

道少田　山本　朗史
秋冷の花緊まれるを囲い棲む

鮫川高校　二瓶　智広
夕焼けて影と二人の帰り道

短歌

新宿　杉山　忠男
追及心深める傾向つとめつつおのず老化の防止にはげむ

名下　須藤美代子
長かりし夏よい草の座布団を陽に膨らめる綿入れに替う

田苗下　蛭田　浩市
あけすけに話し会いつつ級会夜更けるも知らず飲み明かしおり

本坂　円谷　好男
立つ風の音を聞きつつ故里の七草の花目に描きおり

酒垂　石井　カヤ
目覚めればはや五時半かと起き出でて弁当つくるも日課となりぬ

大石草　鈴木イミ子
作指数一〇三の穂波揺れており自由化の波の不安もせまる

広畑　岡部ヒサ子
水心問わむ豆腐を賽の目に切れば答えは指間を流るる

関口　藤田　マサ
姪は目出度く結ばれて農を継ぐ二人の晴着は客を和ます

越虫　星　武
真赤なる一口トマト手にしつつ作りあげたるものを味わう

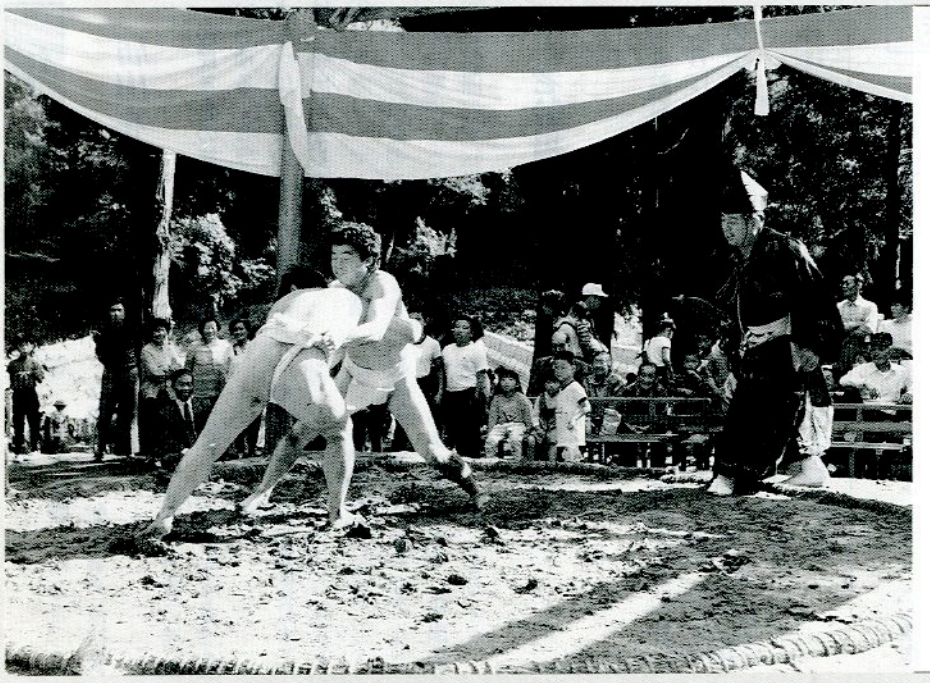
田苗下　蛭田　正
ゲートボールの試合を終えて仲間らと「おだ」あげながらビールで乾杯

岫長　北條　平
ひなびたる別府の湯宿に友として歌論に一夜時を忘るる

前沼　岡部世志枝
孫達と半月過せば鼻歌も童謡も出る杳き日のごと

棚橋　関根　一好
遠く来て一会ならむと言うや君湯宿の庭の夏水仙の自（亡き戦友の妻に会う）

伝統の西野青年相撲



十月一日は村統一祭礼の日。西野の熊野神社境内では、西野青年会による伝統の青年相撲が行われ観衆から歓声があがりました。

どれにしようかな

10月11日、鮫川保育所では塙町のりんご園でりんご狩りを行いました。

赤くなったりんごを見つけては、小さな手でもぎったり、食べたりして楽しい1日を過ごしてきました。





隔年で実施している戦没者追悼式と慰霊祭を九月二十日山村開発センターで行われ、遺族、来賓一六〇人が出席しました。

戦没者に黙とうを捧げ芳賀村長の式辞に続き蛭田村議会議長と遺族代表の阿久津光翁さんが追悼の辞を述べました。

引き続き、遺族会主催による慰霊祭が行われ、戦没者二四一柱の霊に玉串奉典、焼香がなされ、めい福を祈りました。

行政相談週間

十月十四日から二十日までの七日間は「秋の行政相談週間」です。

これは、国民の行政に関する苦情や意見・要望等を受け付けてその解決や実現の促進を図る総務庁の行政相談制度について、広報活動等を通して広く国民の理解を深めることを目的としています。

国・県などが行っている仕事で

・どこに申し出たらよいかわからない

・苦情を直接言いにくい

・このようにしてほしい……

などの苦情や要望がありましたら、気軽に行政相談委員にご相談ください。

相談は無料で秘密は守ります。

毎月一回、心配ごと相談日と併せて行政相談日を設けているほか、電話による相談も受付けしています。

行政相談委員　緑川　操
住所　大字赤坂西野字仁田
電話番号　四九－二三六六
いつでもお気軽にどうぞ！

話題・ト

おいしい・おいもだよ！



渡瀬保育所では、青生野地内の畑に栽培されたじゃがいもを掘りました。じゃがいも掘りは今年で二回目で、〝お父さんとお母さんと子どものじゃがいもができたよ！〟と子どもたちは大喜びでした。

掘ったじゃがいもは約四〇kgで、毎日給食で食べています。

敬老会





9月15日、農業者トレーニングセンターで平成二年度の敬老会が満六九歳以上の方々をお招きして開催されました。

米寿や金婚夫婦の方々に記念品が渡されたあと、小、中学生が作文を朗読しました。

慰安演芸は「鮫川村ふる里文化芸能クラブ」の皆さんの民謡、民舞、詩舞などで楽しみました。

大会新7をマーク



9月19日「第17回鮫川村小学校陸上競技記録会」が青少年広場で行われ、児童たちが日頃の練習の成果を発揮し、大会新が7とすばらしい成績を残しました。

また、10月2日に行われた東白川小学校陸上競技大会でも男子一、〇〇〇メートルで西野小の須藤勝広君が3分20秒5の大会新記録で優勝、女子八〇〇メートルで西野小の矢吹博子さんが2分39秒4の大会新記録で優勝するなど、鮫川勢が大活躍しました。

第15回 福島県林業祭

森林の重要性と林業の姿を県民に紹介し、緑豊かな住みよい県土づくりと林業・林産業の振興に寄与するため、林業祭が開催されます。是非ご参加ください。



◎とき
十月二十七日（土）
午前九時三十分～午後四時
十月二十八日（日）
午前九時～午後三時

◎ところ
福島県林業試験場
（郡山市安積町成田）

◎主な催しもの
- 木材まつり
- 子どもの広場
- きのこまつり
- 林業機械まつり
- 緑化木まつり
- ふるさと産品フェア

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	生年月日	保護者
酒垂	石井あゆみ	8／23	石井一弥
岩野草	松崎 清訓	8／27	松崎千弘
鍬木田	渡辺マリ子	9／8	渡辺光壽
鍬木田	小嶋 佳承	9／14	小嶋 満

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
青生野	山形 久男	69	山形新一
青生野	堀川 敏孝	1	堀川廣二
中	鈴木 ナツ	82	鈴木好美
菅田	関根フミ子	60	関根敏夫
蕨ノ草	矢吹 ユキ	71	矢吹敬事
仁田	矢吹 健治	68	矢吹健雄
赤柴	箭内 利信	61	箭内シナ

「さぎり荘」に掛時計寄附

村民保養施設「さぎり荘」に勤務している石井清重郎さんから、「さぎり荘」で利用してくださいと掛時計が寄附されました。

石井さんは、「さぎり荘」で利用客の応待にあたっていますが、いつも大勢のお客さんが利用している大広間に時計がなく、何かと不便さを感じていたため、このたび寄附されました。どうもありがとうございました。

赤い羽根共同募金運動 10月１日～31日

体力づくり強調月間 10月１日～31日

消防団秋季検閲 10月21日

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○青生野 山形 新一様
亡父（久男様）の遺志により 二〇、〇〇〇円

○郡山市 吉田 ミエ様
敬老会を御祝して 三〇、〇〇〇円

○中 鈴木 善康様
亡祖母（ナツ様）の遺志により 五〇、〇〇〇円

○菅田 関根 秀男様
亡母（フミ子様）の遺志により 三〇、〇〇〇円

○蕨ノ草 矢吹 敬事様
亡母（ユキ様）の遺志により 二〇、〇〇〇円

○仁田 矢吹 健雄様
亡父（健治様）の遺志により 五〇、〇〇〇円

○赤柴 箭内 修一様
亡父（利信様）の遺志により 二〇、〇〇〇円

今月の納付

村県民税 第３期
国民健康保険税 第５期
国民年金保険料
納期限 10月25日

ゴミは収集日に

収集コース	種別	10月	11月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	1.5.8.12.15 19.22.26.29
	不燃物	12.26	9
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	1.5.8.12.15 19.22.26.29
	不燃物	12.26	9
真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	3.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	11.25	8.22
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	3.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	19	16
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	3.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	24	7.21
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	3.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	12.26	9
鮫川分校（木曜のみ）、鮫中コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	1.5.8.12.15 19.22.26.29
	不燃物	11.25	8.22

心配ごと政相談

10月22日（月）
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後1時から午後3時までは、弁護士が相談に応じますので、ご利用ください。

休日のお医者さん

月日(曜)	当番医院		
	棚倉町	塙町	石川町
10月21日(日)	菅原	—	矢吹
28日(日)	大木	中島	中島
11月3日(土)	東白川中央	車田	大野(病)
4日(日)	阿部	根本	三瓶
11日(日)	藤田	厚生病院	原外科
18日(日)	和田	石川	石川中央